

“かわいいデザイン”よりも“良さを引き出すデザイン”を

KASUGA Design Room



自分自身がスキルを磨き、積極的に動いていく環境が“創業”でした。

KASUGA Design Roomは、平成25年に開業するまでは、県内の印刷会社（春日印刷(有)）のサテライトオフィスだった。

代表の古庄 優子さんは、同社との業務提携は継続しつつも、「印刷のみならず、WEBもコンサルもできるデザイン業」を目指して、日々クライアントとのコミュニケーションに注力している。

「気づいていない良さ」を引き出す

KASUGA Design Roomでは、クリニック様、飲食店様、個人事業主様など、多様な業種・業態のクライアント様とお仕事させていただいています。

その経験から、新規のお客様には、最適なPR方法を、他の事例を紹介しながら説明できます。

また、私は、「お客様の長を生かしたものを作りたい」と思っています。

お客様と十分お話させていただいたうえで、ビジネスを俯瞰し、お客様自身が気づいていない良さ・特長にも目を向け、かっこよさよりも、その長を表現するデザインを心がけています。



エイブルアートの普及を目指す

製品は、名刺、ロゴタイプから、情報誌、パンフレットなどまで、ご要望に応じて幅広くご提案できます。

さらに、印刷物作成時の情報は、ホームページにも活用できます。パンフレット用にきちんと撮った写真などをホームページに転用することで、コストが二重になっていた部分を効率化できます。

名刺へのこだわり

お仕事させていただくうえで、私が最もこだわっているのが、名刺です。グラフィックデザインのすべてが凝縮されたのが名刺だと思っています。

作成に当たっては、お話をうかがいながら、事業の長、仕事へのこだわりなどを凝縮し、お客様の「顔」となるにふさわしい名刺を目指します。

ロゴ制作料など、最初のデザイン料は別途いただきますが、印刷料については、他の印刷業者と遜色のないような価格を心掛けています。

名刺をプリンターで出力されるお客様向けのご提案も行っています。

エイブルアートの普及をライフワークに

現在特に力を入れているのは、エイブルアートの普及事業です。

エイブルアートとは、障がい者、特に知的障がいのある作家が制作したアートのことです。知的障がいのある方には、芸術的に秀でた才能を発揮する方がいます。

大分在住の優れた作家、作品が正当に評価されるよう、「元気のでるアート！実行委員会（社会福祉法人法人みずほ厚生センター内）」と連携し、普及を図っています。

具体的には、県内エイブルアート作家さんが制作した膨大な作品をデータベース化し、福祉に関心のある団体・企業等の会報誌、印刷物、グッズの素材としてのデータ使用を提案します。

また、大分県立美術館が完成間近で、美術への関心も高まると予想されるため、作家オリジナルグッズのアートショップへの販売、県外のアートファンへのPRも行っていきます。

自分が目にし、素晴らしいと感じたエイブルアートを、より多くの方に知っていただきたい。それをライフワークにしていきたいと思っています。

創業セミナー受講・国補助金活用

創業を決意したのは、広告、PRについて、印刷物だけでなく、デザインを核にWEBなど様々な媒体に展開していきたいという思いからでした。

また、前職でのお客様とお付き合いのなかで、「潜在能力をもっと引き出したい」「もっとこちらから提案したい」という思いもありました。

春日印刷(有)には前もって話し、快く送り出してくださいました。

創業前後に、「おおいた創業セミナー」の一般向け、女性向け両方に参加しました。

セミナーでは、様々な業種の方に自分のビジネスを説明し、意見をもらう経験が役立つと思います。

同業の方との交わりは気持ちも楽ですし、話も通じやすいですが、他業種の方への説明は難しい作業です。

おおいた創業セミナーでは、説明やディスカッションを通じて、同期生と「交流しながら、お互いを高め合っていく」プロセスを実感することができました。

女性向けセミナー同期の仲間と国の創業補助金にもチャレンジし、25年12月に採択を受けることができました。

国の補助金は、正直言って採択を受けてからが大変だと感じています。書類の整え方など、細かく確認しながらキッチリやっていたかなければなりません。仲間や支援機関と相談しながら、一つ一つ疑問点をクリアにしています。

私の場合は、前職時代から、大分商工会議所や(公財)大分県産業創造機構と仕事上のお付き合いがあったので、いろいろと相談に乗っていただいています。創業セミナー参加者や他の創業希望者さんにお話を聞くと、「支援機関に相談するのは敷居が高い」「ビジネスプランが固まっていないので、まだ支援機関に相談に行けない」と考えておられる方もいるようです。

そんな方には、「プランが固まっていなくても、



代表の 古庄 優子 さん

話しているうちに固まってくる場合もあるし、気軽に行ってみるといいよ」と助言しています。

他者との違いを出していく場所へ

私は、前職時代の待遇への不満はありませんでした。仕事も自由にさせてもらっていました。

しかし、「もっと良くするには」と思った時、「私自身がもっとスキルを磨き、より積極的に動いていく環境」が必要だと思い、創業の道を選びました。

創業は、「みんなと同じでOKな場所」から、「他者との違いを出していく場所」へと踏み出すステップなのではないかと思っています。

そのために必要なスキルは、それまでの努力の積み重ねです。

「全く新しいことを突然始める」ということはほとんどなく、積み重ねたスキル、ネットワークを存分に発揮し、自分にしかできないことをやっていくのが、創業だと思います。

今何かを一生懸命に頑張っている方は、既に起業家の資質を持たれているのではないのでしょうか。

DATA

事業所：KASUGA Design Room
業種：グラフィックデザイン
印刷物・パッケージデザイン
ホームページ制作
広告・PRアドバイス

代表者：古庄 優子

創業：平成25年9月

住所：大分市都町4丁目1-24-302

TEL：097-538-2356

URL：<https://www.facebook.com/kasugadesignroom>